

(ヨウ素+ヨウ化水素酸+硫酸)溶液の定量分析法(特許第4521527号)

技術的特長

化学水素製造プロセスにおいて、反応物の溶液(ヨウ素+ヨウ化水素酸+硫酸)を定量分析法として、ヨウ素還元滴定、中和滴定、ヨウ素酸塩滴定を組み合わせることで分析することにより、前処理を含む分析時間の短縮と分析機器に要する経費を節約することができる。

発明の効果

(ヨウ素+ヨウ化水素酸+硫酸)溶液の定量分析において、前処理を含む分析時間の短縮と分析機器に要する経費を節約することができる。

本特許の活用用途

溶液の分析が行われる産業、設備、機器で活用される。
(1)原子力発電所 (2)化学産業

溶液の定量分析において、分析時間の短縮と分析機器に要する経費の節約ができる

ご相談は下記まで御連絡ください

〒319-1195

茨城県那珂郡東海村白方白根2-4

TEL:029-282-6467

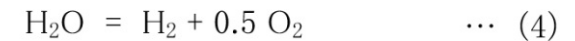
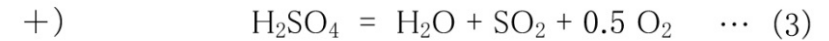
FAX:029-284-3679

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
研究連携成果展開部

特 許 内 容

従来の問題点

従来、分析ではイオンクロマトグラフィーやICPを利用するが、イオンクロマトグラフィーは前処理に数時間を要し、ICPは測定機器が高価であり、前処理が必要という不都合がある。



【化学式1】 熱化学水素製造プロセスの反応式

本特許の具体的内容

